

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 五日市センター
	所在地	あきる野市館谷台17
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係
指定管理者	名称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外(植木等のせん定を含む。)、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページURL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houjin/center.html
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日

2 施設の利用状況等について

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開館等日(日)	263	243	164	228	265
延べ利用者数 必須事業(人)	2,111	2,190	1,616	1,538	2,096
前年度比(人)	△161	79	△574	△78	558
前年度比(%)	92.9%	103.7%	73.8%	95.2%	136.3%
延べ利用者数 自主事業(人)	2,713	3,020	2,126	3,163	5,193
前年度比(人)	225	307	△894	1,037	2,030
前年度比(%)	109.0%	111.3%	70.4%	148.8%	164.2%
利用料金 合計 必須事業(千円)	1,850	1,862	1,374	1,307	1,782
前年度比(千円)	△129	12	△488	△67	475
前年度比(%)	93.5%	100.6%	73.8%	95.1%	136.3%
利用料金 合計 自主事業(千円)	2,060	2,617	2,687	3,386	4,030
前年度比(千円)	△705	557	70	699	644
前年度比(%)	74.5%	127.0%	102.7%	126.0%	119.0%

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入	指定管理料	13,735	13,882	13,897	13,735	13,882
	利用料金収入	1,850	1,862	1,374	1,307	1,782
	自主事業収入	2,060	2,617	2,687	3,386	4,030
	その他の収入	0	0	397	0	0
	収入計	17,645	18,360	18,354	18,429	19,694
支出	人件費	9,333	11,606	10,152	10,072	11,764
	維持管理経費	5,011	5,485	4,446	5,079	5,814
	自主事業関係経費	1,695	1,854	1,229	1,557	1,498
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	16,040	18,945	15,826	16,709	19,076
収支(収入-支出)	1,606	△585	2,528	1,720	617	

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
必須事業の利用者には、昼休み時、特に独居の方の生活面やお身体の事や、困っていることなどを伺うようにしています。年2回のアセスメント作成時にも個別で面談を行っています。講座受講者の方には常に、要望・改善策を伺っています。また、多様な意見も大事なので意見箱の設置も継続して行っています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
必須事業の利用者から、「センターに来るとホッとすると、皆さんに会えて嬉しい」と独居の方からお声をいただきました。「ドライブで外出できて良かった」と喜びの声もたくさんいただきました。自主事業で今年度もマスクを外してしまう方がおり、他の方から注意して欲しいと要望があったため、入館時にセンター内でのマスク着用の声掛けを実施しました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
必須事業では、外出したいとの要望が多かった為、ドライブに出かけ、季節の花や景色を楽しみました。また、介護予防で脳トレ体操を活動の中に多く取り入れました。自主事業では、運動系のものを取り入れてほしいと要望があったので、リズムエクササイズ、太極拳を取り入れました。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
燃料費削減のため、送迎のコースを変更し、使用していない電気は消す、エアコンの温度調整をこまめに行い、経費削減に取り組みました。また、ご寄付いただいた物は必須事業の材料として手工芸に使用したり、センターの装飾品などにも活用させていただきました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
必須事業では、介護申請する方が増加し、利用者の登録人数は減少傾向にありますが、前年度と比較すると上向き傾向です。自治会訪問も再開し、周知活動を行いました。自主事業では、スマホ教室でセンターの事業を知った利用者の約50%は他の講座に参加していただいております。また、今年度も麻雀講座が人気で、昼食持参で午前、午後と楽しまれている方が定着しています。講座受講者の方に体を動かしたいと要望があり、リズムエクササイズ、太極拳など新規講座も取り入れました。地域の方々のコミュニティーの場となり多様に交流できることに努めました。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
日頃から利用者に耳を傾け、困りごとがないか確認し、相談に応じることでセンターの信頼につながっていると考えられます。外出したいとの要望や運動したいとの要望に対しても柔軟に対応することで、利用者の満足度の向上につながり、たくさんの喜びの声をいただきました。スマホ教室が満足する内容だからこそ、他の事業の利用につながっていると考えられます。引き続き、利用者のニーズに応えられるよう、市民サービスの向上に努めてください。
経費削減の取組
送迎コースを再検討し、燃料費の節減に努めるとともに、使用していない電気を消す、エアコンの温度調整をこまめに行うなど、基本的な経費の節減にも取り組むことができました。引き続き、センター運営に支障が出ないよう心がけ経費削減に取り組んでください。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
新型コロナウイルス感染症の影響がある中、感染症対策を施しながら事業を実施し、前年度比で自主事業の利用者数が増加していることは評価できます。必須事業は利用者数が減少傾向にあり、今後の課題と考えられます。自主事業については、利用者の声に耳を傾け、太極拳教室やスマホ教室を開設し、利用者増加のための創意工夫が見られます。引き続き、既存利用者の継続、新規利用者の獲得を目指し、ニーズに応えた講座の提供、さらに広く周知を図るとともに、安全かつ快適で利用しやすい施設の管理運営に努めてください。

総合評価	A
------	---

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。